

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
322	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
<b>題名 (原題/訳)</b>	
Relationships of cigarette smoking and alcohol consumption to metabolic syndrome in Japanese men. 日本人男性における喫煙・飲酒とメタボリック症候群との関連	
<b>執筆者</b>	
Nakashita Y, Nakamura M, Kitamura A, Kiyama M, Ishikawa Y, Mikami H.	
<b>掲載誌 (番号又は発行年月日)</b>	
J Epidemiol. 2010;20(5):391-7. Epub 2010 Aug 7.	
<b>キーワード</b>	
メタボリック症候群、喫煙、飲酒、横断研究、日本	
<b>要 旨</b>	
<p><b>背景：</b> 喫煙はメタボリック症候群(Mets)の悪化要因として重要である。加えて飲酒はその量に関わらず Mets と関連しているとの報告もある。しかしながら、それら二つの Mets に対する複合的影響については十分検証されていない。</p> <p><b>方法：</b> 本研究は、3904人の20歳以上の男性から、質問票により収集された喫煙・飲酒に関する情報に基づく横断研究である。Mets は日本基準により定義した。ロジスティック回帰分析を用い、可能性のある交絡因子を補正した上で、喫煙・飲酒と Mets との関連を解析した。</p> <p><b>結果：</b> 581 (14.9%)名が Mets を有していた。喫煙・飲酒量は有意に Mets 有病率と関連していた(傾向性 <math>P &lt; 0.0001</math>, <math>P = 0.030</math>)。多変量調整オッズ比は非喫煙者に比べ30本以上の喫煙者で 1.89 (95%信頼区間: 1.34-2.65)、非飲酒者に比べエタノール69グラム以上の飲酒者で 1.54 (1.06-2.23)、非喫煙者かつ非飲酒者に比べて30本以上喫煙かつエタノール69グラム以上の飲酒者で 3.63 (1.91-6.90)であった。30本以上喫煙とエタノール69グラム以上の飲酒の交互作用は 2.03(1.02-4.01, <math>P = 0.043</math>)であった。</p> <p><b>結論：</b> 喫煙・飲酒は、Mets 有病と独立して関連していた。Mets 有病率は、多量喫煙・多量飲酒者で特に高かった。</p>	